



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2017年9月28日号



◆学芸員自然と歴史のたより◆

「実物と図面が日本遺産—横須賀製鉄所の石造ドック」

横須賀製鉄所は、江戸時代末期の慶応元(1865)年に起工した施設です。当時の日本では最大の工場であり、日本に西洋の近代的な技術を根付かせるための中心施設として建設されました。明治4(1871)年には横須賀造船所と名を変え、さらに拡張が続けられました。

横須賀製鉄所の場所は、現在のヴェルニー公園の対岸あたりになります。その岸壁から内陸部に向かって3基のドライドックが並んで掘られています。これは、日本最古の石造ドライドック群であり、いずれも現役で使われています。各ドックには、それぞれに特徴的な歴史的魅力が存在します。

まず、最初につくられた1号ドック。これは、慶応年間に着工し明治4(1871)年に竣工した日本最古の石造ドライドックです。建設に関わったフランス人と江戸幕府の役人、すなわちサムライたちは、耐震を目的とした設計変更を行いながら建設を進めました。

1号ドックに続いて、明治7(1874年)には現在の3号ドック、明治17(1884)年には現在の2号ドックが完成しました。この2号ドックの建設には、フランス人に加えて、横須賀造船所に設置された優秀な付属学校の「覺舎(こうしゃ)」で技術を学んだ日本人技術者の恒川柳作が加わりました。恒川は、ここでドック建設の技術を我が物としていきました。以後の恒川の活躍は目ざましく、旧横浜船渠株式会社第二号船渠(国指定重要文化財、横浜ドックヤードガーデン)、石川島造船所川間分工場船渠(浦賀にある通称、川間ドック)など、全国でドライドック建設を手掛けました。

2番目に建設された3号ドックでは、輸入セメントが使用され、横須賀造船所の日本人技術者は、セメントの国産化を決意してその実現に貢献しました。

これら3つの石造ドライドックについては、建設時の図面や資料が伝来しています。この資料は、「石井頼一郎氏寄贈近代造船所建築図面資料」というコレクションに含まれ、これらもドライドック本体と併せて日本遺産の構成文化財となっています。(近代建築学担当：

菊地)

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/24890>

◆展示情報◆

企画展示「実物のない展示会～自然科学と二次資料～」

2017年11月5日(日)まで

実物の資料を一次資料、一次資料の複製や記録を二次資料といいます。今回の展示では二次資料にスポットをあて、恐竜の化石レプリカやバードカービングなど見ごたえのある二次資料を多数展示。二次資料のヒミツを紹介します。

【おもなみどころ】

○化石レプリカ

化石レプリカは博物館の二次資料の代表格。恐竜をはじめとする化石レプリカを多数展示します。大迫力の草食恐竜(竜脚類)の歩行跡(長さ3.5m!)も展示。

○いろいろな模型

バードカービング(木彫りの鳥の模型)やウミウシ、キノコ、アノマロカリスなど、さまざまな模型を展示します。

○学芸員がイチ押しの写真

標本写真だけでなく、フィールドで撮る景観写真や生態写真ものまた、生き物と周囲の様子を記録した二次資料です。学芸員おススメの写真を紹介します。

○昆虫ぬり絵コーナー

細密画やイラストも実物の特徴を効果的に伝える二次資料です。実物の標本を見ながら色をぬり、分かりやすいイラストづくりにチャレンジしませんか?

【関連行事】

展示解説 10月1日(日)、11月4日(土) いずれも14:00~15:00

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/24330>

トピックス展示「東京湾の安全—海上保安庁のできた頃—」

2017年11月19日（日）まで

---

日本の沿岸を守り、環境問題にも関係の深い海上保安庁が発足してから70年近くになります。

発足した昭和20年代の関係データと艦船写真を含めて展示します。横浜海上保安本部業務概要 昭和23年、第三管区海上保安本部報・創刊号 昭和26年10月、日本のコーストガード海上保安庁パンフレット 昭和26年、PC-27 ゆうぎり・PS-106 おきちどりの写真などを展示します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/24816>

---

トピックス展示「基礎から学ぼう昆虫学成果展」

2017年10月28日（土）～2017年11月19日（日）

---

博物館教室『基礎から学ぼう昆虫学』（今年度5月～8月に実施）の参加者による観察や研究を展示します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/24899>

◆イベント情報【文化ウィーク特集】◆

博物館では11月3日文化の日にちなんで、さまざまなイベントを開催します。

---

国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具」収蔵庫公開

2017年11月3日（金）～2017年11月5日（日）

---

館内には収まりきれないほどの大形の木造船、竹で編んだ巨大な生け簀、タコ・イカ・マグロなど様々な種類の釣り針など、2603点を期間限定で公開します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24083>

---

研究発表会「よこすかの歴史最前線」

2017年11月3日（金）

---

三浦半島を中心とした様々な研究発表の「機会」として、また市民の地域の新しい研究成果を学習する「場」として、『よこすかの歴史最前線』（歴史・考古・民俗）を開催します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24391>

---

博物館講演「よこすか歴史物語② 道具からみえる横須賀」

2017年11月19日（日）

---

申込不要。横須賀の道具について、博物館の学芸員が講演します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24101>

---

自然観察会「つくって学ぶ！しだ・こけテラリウム」

2017年11月5日（日）

---

事前申込制。馬堀自然教育園のシダやコケを観察し、名前や特徴を学びながら自宅に飾れるテラリウム（ガラス容器などで生物を育てること）を作しましょう。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24121>

◆イベント情報

---

---

博物館教室「三浦半島の自然誌」

2017年11月9日（木）

---

事前申込制。三浦半島の身近な自然を，地球科学，昆虫，植物，魚類についての講義をとおして学習します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24107>

---

博物館教室「三浦半島の都市建築史」

2017年11月11日（土）

---

事前申込制。幕末から昭和における横須賀・三浦半島の近代化と都市化の過程について，室内での解説と歴史的建造物の見学を通して学びます。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24110>

---

自然館ミュージアムトーク（11月）

2017年11月3日（金）

---

申込不要。博物館の学芸員が自然館の展示や最近のトピックスについて解説します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24097>

---

天神島ガイドツアー（10月）

2017年10月22日（日）

---

申込不要。天神島臨海自然教育園内の動植物や景観などの見どころを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/24150>

---

発行：横須賀市自然・人文博物館

---

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>